

港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀



とら まき の港区 虎の巻

Vol.46

発行/仲間へ勇気の会 〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-112 TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com

発行日:H23. 3. 23

## 仲間へ勇気!

私たちが  
の街の  
港区議会議員



### 無所属

#### プロフィール

- 昭和49年京都府生まれ
- 私立同志社高等学校卒業
- 東北大学教育学部卒業  
民間企業勤務を経て
- 平成15年、19年港区議会議員当選。現在二期目。
- 趣味：自転車や徒歩でまちを感じる

### 港区の防災事業 災害に備えて

- 「大震災に備えて」という冊子を配布しています。役立つ情報がまとめられています。今一度目を通してください。
- 家具転倒防止器具等の無償支給  
今回の震度5強の地震でも家具が大きく揺れ、怖い思いをされた方も多かったようです。必ず転倒防止器具をつけましょう。高齢者や障害者世帯には取付けも支援します。フィルムによる窓や戸棚のガラスの飛散防止も重要です。
- 災害時要援護者登録事業  
希望される高齢者や障害者等を対象に名簿を作成し、災害時の救助に役立てます。
- 建物の耐震診断や耐震改修工事の費用を助成
- 緊急地震速報装置の設置費を助成
- 防災訓練の実施  
港区総合防災訓練の他、町会等地域単位でも防災訓練を実施しています。機会を捉えて参加しましょう。
- 携帯サイズの地区版防災マップを支所で配布しています。
- DVD「高層住宅の震災対策 必ず来る大地震 今!備えること!!」を区民や区内事業者等に無料で貸し出しています。
- 防災情報メール配信サービス  
地震や大雨、洪水等の災害情報を、携帯電話やパソコンに配信します。英語でも配信しています。  
kumin@bousai.city.minato.tokyo.jp に空メールを送信し、登録。  
(防災課 03-3578-2911(代表)またはなかまえ由紀までお問い合わせください)

### 東北地方太平洋沖地震関連情報

- 被災地や被災者への支援は時期により変化します。区ホームページや区役所に確認を。
- スポーツセンターは当面休止、他の施設も施設ごとに休止や開館時間の短縮、事業の縮小を行っています。
- 震災に関するもろもろの相談窓口を支所に開設しています。  
(<http://www.city.minato.tokyo.jp/kinkyu/kinkyu.html>)

### なかまえ由紀の提言

区民の生命と財産を守るのは行政の一番の責務です。今回の地震を受け、帰宅困難者対策の強化、災害時のスムーズな情報連絡体制の構築、建物耐震化の推進について区に要望しました。

日本、心ひとつに。  
この度の地震で被災された皆様  
そしてお亡くなりになられた方々に  
心よりお見舞いと哀悼の意を申し上げます  
港区議会議員 なかまえ由紀

港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀



とら まき の港区 虎の巻

Vol.46

発行/仲間へ勇気の会 〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-112 TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com

発行日:H23. 3. 23

## 仲間へ勇気!

私たちが  
の街の  
港区議会議員



### 無所属

#### プロフィール

- 昭和49年京都府生まれ
- 私立同志社高等学校卒業
- 東北大学教育学部卒業  
民間企業勤務を経て
- 平成15年、19年港区議会議員当選。現在二期目。
- 趣味：自転車や徒歩でまちを感じる

## 平成23年度予算について

### 財政規模

23年度一般会計予算額は1,153億4,000万円で、前年度と比べ68億2,000万円、6.3%の増。

### 歳入のポイント

景気低迷の影響で、特別区税は562億5,200万円。(前年度比66億8,000万円、10.6%の大幅減。)一方、繰入金は約200億円。(前年度比99億6,900万円、100.9%の大幅増。)

→ 収入が減った分貯金を切り崩し

### 歳出のポイント

昨年度と比較し、総務費：11億4,000万円(5.1%)増。(田町駅東口北地区公共公益施設整備等)民生費：72億円(19.4%)増。(子ども中高生プラザの建設、子ども手当、生活保護の増加等)衛生費：40億円(91.7%)増。(みなと保健所改築等)

→ 施設整備関連で多額の財政需要

### 予算委員会でなかまえ由紀が質問、要望した主な事項

- 震災対策
- 区内事業者の支援と契約の公平性
- 実効性のある事務事業評価を
- 効果的な路上喫煙対策を
- 環境影響調査の改善について
- 高齢者の住まいの確保について
- 銭湯の減少について
- 児童虐待防止について
- 緊急暫定保育施設の存続についての保護者説明のあり方
- 地域猫活動について
- 自殺対策
- 自転車利用環境の整備促進
- 不便な交差点の改善
- ちいばすの各種改善と収支
- 外苑前3番出口の改善
- 小1プロブレム対策、ほか。

### なかまえ由紀の23年度予算への考え

景気の低迷で、収入の根幹をなす特別区民税収入は21年度決算比約100億円の減収見込み。一方、多くの財政需要で今後の基金の大幅減も明白。区財政は依然良好だが楽観はできない。港区は他自治体と比べ人口あたりの予算額が大きく、サービスが充実している一方、必要性に疑問のある事業も存在する。したがって、無駄を省き優先度の高い事業に集中投資し、満足度の高い区政を実現する姿勢が求められる。以上申し述べ予算4案に賛成。

賛成

# なかまえ由紀



とら まき  
の港区 虎の巻

Vol.47

発行/仲間へ勇気の会

〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529

TEL&FAX 03-3446-9033

info@nakamaeyuki.com

発行日:H23. 11. 28

## 仲間へ勇気!

私たちがの街の  
港区議会議員



## 無所属

### プロフィール

- 昭和49年京都府生まれ
- 私立同志社高等学校卒業
- 東北大学教育学部卒業  
民間企業勤務を経て
- 現在 3 期目
- 所属委員会：区民文教常任委員会、  
まちづくり・子育て等対策特別委員  
会、防災・エレベーター等対策特別  
委員会
- 趣味：自転車や徒歩でまちを  
感じる

### 3期目に歩みを進めさせていただきました。

落選した1度目の選挙(平成11年(25歳)795票、14票届かず落選)、1期目の当選(平成15年(29歳)1,406票6位)、2期目の当選(平成19年(33歳)2,056票2位)、3期目の当選(平成23年(37歳)1,755票6位)。

過去4度の選挙の得票数はすべて記憶しています。

組織のない私にとって、ひとりひとりの皆様のお気持ちの積み重ねが得票数であり、勇気をいただくと同時に、責任の重さを痛感する非常に重いものです。

これからも皆様への感謝の気持ちを胸に、無所属の立場で、しがらみを排除し、一人一人の皆様との絆に立脚した政治活動を行うことを誓います。

至らぬ点もございますが、今後ともよろしくお願ひします。

公職選挙法第178条により当選のお礼が禁止されています。ご理解のほどお願ひ申し上げます。

### 会派について

区議会での会派は引き続き無所属一人会派「仲間へ勇気の会」です。

34人定数の港区議会ですが、無所属の議員はいつも少数で、今までも一人会派や二人会派で活動してまいりました。港区議会では3人以上の会派が交渉会派で、議会運営委員会に正式メンバーを出せるなどの権限が与えられます。また会派の人数に応じて、委員長などのポストが付与されます。「仲間へ勇気の会」

は非交渉会派ですので、委員長などのポストは回ってきませんが、議会運営委員会や幹事長会など会派間の協議の場にはオブザーバーとして参加できます。また毎回の定例会で会派として質問ができるなど、港区議会では、少数会派にも配慮した議会運営がなされています。少数会派であっても不自由なく活動をさせていただけることに感謝をしています。

議会は多様な区民の代表が議論し、より多くの区民にとって最良の政策を選ぶ役割を担っています。

なかまえ由紀はこれからも区民の皆様の声、自分の視点で自分の言葉で議会に届けます。

ご意見ご要望をお寄せください!

### 「仲間へ勇気の会」の基本姿勢

#### 「批判ではなく提案を！」

- ◆財政が豊かな港区だからこそ、「ばらまき」に陥ることなく、貴重な税金が有効に活かされるよう、区政をしっかりチェックします。
- ◆社会的に弱い立場の方への支援は大切ですが、すべての事業にコスト意識、費用対効果の視点を持ちます。
- ◆公平・透明を大切に、説明責任の果たせる区政を築きます。
- ◆少数意見を大切にしながらも、サイレントマジョリティの視点を忘れず、自由な無所属の立場から、常に全体にとっての利益を考え発言します。

以下、裏面へ

# なかまえ由紀



とら まき  
の港区 虎の巻

Vol.47

発行/仲間へ勇気の会  
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033

発行日:H23. 11. 28

✉ info@nakamaeyuki.com

## 仲間へ勇気!

私たちの街の  
港区議会議員



## 無所属

### プロフィール

- 昭和49年京都府生まれ
- 私立同志社高等学校卒業
- 東北大学教育学部卒業  
民間企業勤務を経て
- 現在 3 期目
- 所属委員会：区民文教常任委員会、  
まちづくり・子育て等対策特別委員  
会、防災・エレベーター等対策特別  
委員会
- 趣味：自転車や徒歩でまちを  
感じる

議会で質問する際、皆様からいただいたご意見を大いに参考にさせていただいています。今後とも皆様が普段の生活の中で感じた様々なご意見をお寄せいただければ幸いです。

### 平成23年第2回定例会報告

本会議場で区長、教育長に以下質問・要望しました。

#### ◆「今後の財政見通しと区民サービスへの影響について」

**質問要旨** 景気動向、外国人の転出等震災の区財政への影響は大。区は防災対策を優先するが財政見通しと区民サービスへの影響は。

**答弁要旨** 予断を許さない状況。施策を見直し、優先的に取り組む施策は速やかに実施していく。

#### ◆「防災に関する諸問題について」

**質問要旨** ①帰宅困難者対策は、区内企業との連携、関係者間の連絡体制の確立、民間施設での受け入れを。②災害時学校の対応が混乱しないよう、機能する行動指針が必要。③「マンション防災ハンドブック」を策定したが今後の対策は。④区の備蓄物資の考え方は。また個人での備蓄目安を積極的にPRすべき。⑤地域防災力向上の後押しを。⑥災害時要援護者名簿の課題と今後の対策は。⑦防災行政無線が聞こえにくい。⑧震災時、消防団の無線がつながりにくかった。⑨区内の避難者へ積極的支援を。

**答弁要旨** ①対策を推進する。②マニュアルを充実する。③強力に推進する。④帰宅困難者分は含まず4万人×2日以上を目安に区で備蓄。各家庭3日分、高層マンション居住者7日分の備蓄を啓発している。⑤支援する。⑥転居等の情報更新に時間がかかるのが課題。緊急に再構築する。⑦増設等の対応を進めている。⑧対策を講じた無線運用訓練を実施予定。⑨今後も支援する。

#### ◆「新エネルギーに対する区の考えについて」

**質問要旨** 震災を受け、新エネルギー導入が進むと思われる。区有施設での活用状況と今後の展開は。

**答弁要旨** すでに太陽光発電設備を18施設計137kw導入。今後も大規模設備を設置予定。地中熱も利用している。

### 平成23年第3回定例会報告

本会議場で区長、教育長に以下質問・要望しました。

#### ◆「放射能に対する区のスタンスについて」

**質問要旨** ①放射能の人体への影響は専門家により見解が異なる。区は国見解の追従か、独自に調査研究し踏み込んだ対応を取るのか。私は積

極姿勢を望むが区のスタンスは。②子どもたちが放射能への正しい知識を学ぶことは大切。今後学校でどう取り上げるのか。また教師への対応は。

**答弁要旨** ①対応は国の方針等に沿っているが、国に安全基準値の早期設定等要望している。②放射線の有用性と危険性を指導する。教員向け講習会を開く。

#### ◆「商品券事業の効果の検証について」

**質問要旨** 毎年区内共通商品券が発行され、区は10%のプレミアム分と事務経費を負担。区民生活の支援と商店街振興が目的だが、購入者の分析がなく、また大型店での使用が約4割と効果が不明。効果の検証が必要。また個々の商店の魅力向上も大切。

**答弁要旨** 今年度実施する商店街周辺市場志向調査の結果や商店街連合会の意見等を踏まえ検証する。

#### ◆「土曜授業について」

**質問要旨** 区では今年度から月2回土曜授業を実施。負担という親の声も聞くが、反応は。

**答弁要旨** 規則正しい生活習慣や学力向上が期待できるなど肯定的。

#### ◆「校庭芝生化に対する区の考え方について」

**質問要旨** 都は全公立学校を天然芝で芝生化する方針。一方港区は保守等の点から基本的に人工芝を支持。どちらも長所短所があり、子どもにベストな環境を選んでほしいが、区の見解は。

**答弁要旨** 人工芝導入校では安全性や機能性、維持管理の面で高評価。人工芝を順次導入する。

### 平成22年度決算特別委員会

#### ◆なかまえ由紀の主な質問要望事項

指定管理者制度の課題改善・町会自治会の負担軽減・ドギーバッグの推奨・出産前後の子どもの一時預かり・飼い主のいない猫対策・タバコ対策・図書館の利便性向上・公園の魅力向上・ドッグラン・賃貸居住者の防災対策・被災地支援・災害時の自治体間協力・商店街振興へのちいばす活用、他。

#### ◆「仲間へ勇気の会」の決算への態度

特別区民税は21年度比約72億円の減収。危機的状況に陥らないよう、財源確保に向けた取り組みと歳出抑制が急務。安全安心を優先しつつも必要性の観点から事業を精査すべき。「仲間へ勇気の会」の意見を区政に反映していただくことを要望し、決算全案を認定。



港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀

仲間へ勇気!



の港区 虎の巻

Vol.49



発行/一人の声 発行日:H24. 12. 31  
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com http://www.nakamaeyuki.com

## 新しい会派を結成いたしました。ご報告!

**私の思い** 本年6月、議員4名で「一人ひとりの声を区政に届ける無所属・民主・社民の会」(略称「一人の声」)を結成いたしました。

会派とは考えを同じくする議員で組むグループで、会派人数に応じて議長、副議長、委員長などのポストが付与され、人数が多いほど権限が大きくなります。

なかまえ由紀は初当選以来、無所属で議員活動しております。地域密着で身の回りの問題に取り組む区議会においては、無所属のほうが活動しやすいと考えるからです。

しかし、私が議員になって以来、無所属の議員は港区議会には一人か二人しかおらず、基本的に同じ政党で組むことの多い会派制度において、私は一人会派もしくは二人会派で活動してまいりました。

港区議会では、3人以上の会派が交渉会派とされ、議会運営委員会に委員を出せる等、議会運営上のさまざまな権利が与えられます。議会運営のルールは自治体によりさまざまですが、港区議会では、一人会派や二人会派であっても、時間は少ないものの毎回の定例会で区長・教育長に質問ができる等、制限はあるものの、不自由なく議会活動を行うことができてきました。しかし議会の中で、少数会派への権限をさらに縮小しようという動きが起こり、議会での十分な活動環境を確保すべく、当時一人会派であった4人でひとつの会派を組むことにしました。

無所属2人、民主党1人、社民党1人と所属政党はさまざまですが、行財政改革を推進し区民満足度の高い行政サービスを提供すべく、基本的には区長与党として、しかし是非々で議会活動を行っていくという区議会での方向性は同じです。

民主主義の原則は多数決ですから、会派制度、グループをつくることの意義は理解しています。一方で、大選挙区制度の中で区民の皆様が思いを託した議員一人ひとりの声が尊重されるべきという思いも強くもっています。その思いをこめて、会派名は長いのですが「一人ひとりの声を区政に届ける無所属・民主・社民の会」としました。通称名は「一人の声」ということで、一人会派のような名前になってしまいますが、一人会派だった4人が集まったので会派ですのでそれもいいかと思えます。区議会だより等、いろいろなところに「一人の声」と記載されます。今後は「一人の声」としてよろしくお願ひします。

私にとっては初めての交渉会派です。会派のメンバーと力を合わせ、よりパワーアップした議会活動を行って

### 「一人の声」メンバー紹介



◆幹事長

**渡辺 専太郎** 65歳 民主党 10期目  
「区議会最古参。頼りになる先輩です。」



◆副幹事長

**横尾 俊成** 31歳 無所属 1期目  
「広告代理店出身。アイデア満載、若手のホープです。」



◆議会運営委員会委員

**阿部 浩子** 44歳 社民党 3期目  
「福祉のエキスパート。元気で明るい同期の仲間です。」



◆会派政策委員

**なかまえ由紀** 38歳 無所属 3期目  
「現場主義でがんばります！」

### なかまえ由紀の会派の歩み

- 1期目 平成15年5月~19年 4月 「仲間へ勇気の会」(無所属一人会派)
- 2期目 平成19年5月~22年10月 「みらい」(無所属二人会派)  
小斉太郎区議(当時)の「みんなの党」入党に伴い、会派を解消し再び一人会派に。  
平成22年11月~23年4月 「仲間へ勇気の会」(無所属一人会派)
- 3期目 平成23年5月~24年 6月 「仲間へ勇気の会」(無所属一人会派)  
平成24年7月~現在 「一人の声」(無所属、民主、社民、4人会派)

### \* なかまえ由紀 プロフィール \*

- 昭和49年2月14日生まれ、京都府出身
- 私立同志社中学・高校、東北大学教育学部卒業
- 情報通信企業にてCADオペレーターとして働きながら、政治の勉強会に参加。
- 25歳で区議会議員選挙に挑戦するも、14票足りず落選。税理士事務所に勤務しながら休日にピラなどで思いを訴える。
- 29歳で初当選し、現在3期目。
- 所属委員会：総務常任委員会、交通・環境等対策特別委員会

港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀

仲間へ勇気!



の港区 虎の巻

Vol.49



発行/一人の声 発行日:H24. 12. 31  
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com http://www.nakamaeyuki.com

## なかまえ由紀 今年の活動

### 平成24年2月22日~3月16日:平成24年第1回定例会

なかまえ由紀は「深刻化する老朽化マンションの建替え支援」「区民ニーズのデータベース化と可視化」「今後の事務事業評価」について区長に質問しました。また24年度予算特別委員会において区政全般にわたり質疑を行い、24年度予算を可決しました。

### 平成24年6月10日:武井雅昭港区長、3期目当選。

利便性の向上と開票作業の効率化を期して、記号式投票を導入。投票率は22.13%、過去最低。

### 平成24年6月25日:新会派「一人の声」結成。

### 平成24年6月27日~7月6日:平成24年第2回定例会

「一人の声」からは横尾議員が会派を代表し、「防災対策」「保育サービスの充実」「在宅介護」「再生可能エネルギー」「教育指針」「財政運営方針」など区税全般にわたり質問を、阿部議員となかまえ由紀は一般質問を行いました。

### ○なかまえ由紀一般質問

4月のホームページのリニューアルと区民の声センターの開設を受けて、「行政の情報発信機能の充実と広聴システムの充実について」質問・提案しました。

### 平成24年7月6日:所属委員会を異動しました。

「区民文教常任委員会」から「総務常任委員会」へ、「まちづくり・子育て等対策特別委員会」から「交通・環境等対策特別委員会」へ、所属委員会を異動しました。

### 平成24年9月13日~10月5日:平成24年第3回定例会

「一人の声」からは阿部議員が会派を代表し、「区債への考え方」「防災に関する諸対策」「いきいきプラザ」「子どもの防犯対策」「東町小学校の国際学級」等について質問し、横尾議員が一般質問しました。なかまえ由紀は23年度決算特別委員会において総括質問を行いました。

### ○なかまえ由紀総括質問

「効率的で透明性の高い区政運営の観点から債権管理条例の導入や公共施設維持管理経費の一元管理などについて」質問・提案しました。

### 平成24年11月5日~6日:総務常任委員会視察

知覧特攻平和会館では先人への感謝の思いと平和を守ることへの決意を新たにしました。また鹿児島市の入札制度とかごしま環境未来館を視察し、他自治体の取り組みから

質問内容の詳細は区議会ホームページをご覧ください、なかまえ由紀までお問い合わせください。

### 平成24年11月28日~12月5日:平成24年第4回定例会

都知事選挙、衆議院選挙の実施に伴い、会期を短縮して実施。「一人の声」からは、なかまえ由紀が代表質問を、横尾議員が一般質問をしました。

### ○なかまえ由紀代表質問

安定的で透明性の高い行財政運営の観点から、「港区の施設使用料の考え方と算出根拠の開示」「予算編成方針の一層の透明化」ほか、「防災諸対策」「自転車環境の整備」「高齢者施策」「新教育長の教育方針」等について質問・提案しました。

### 平成24年12月5日:予算要望を区長に提出。



25年度予算編成に対する要望事項を63項目にまとめ、区長に提出しました。

### ◆会派勉強会

毎回テーマを変えて区役所の担当者にお越しいただき、会派勉強会を開催しました。

- 7月 副区長、区役所改革担当課長 「都区財政調整制度」他
- 10月 国際化・文化芸術担当課長 「国際化推進施策」他
- 12月 教育長 「小中一貫教育」他

◆地方自治政策研究会(主催者:新宿区議会議員のづケン) 他自治体の無所属の地方議員たちと、定期的に勉強会を開催しました。

- 4月 岩淵美智子首都大学東京講師 「地方自治について」
- 6月 横糸勝仁衆議院議員(当時) 「政界再編」他
- 8月 松井一郎大阪府知事 「大阪都構想」他

その他、区内外の施設視察や地域行事への参加など、さまざまな現場で多くの方からご意見を頂戴することができました。ありがとうございました。2013年もよろしくお願ひします。



公職選挙法の規定で選挙区内の方に年賀状をお出しすることが禁止されています。ご理解をお願いします。

港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀

仲間へ勇気!



とら まき  
の港区 虎の巻

Vol.50



発行/一人の声 発行日:平成25年春号  
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com http://www.nakamaeyuki.com

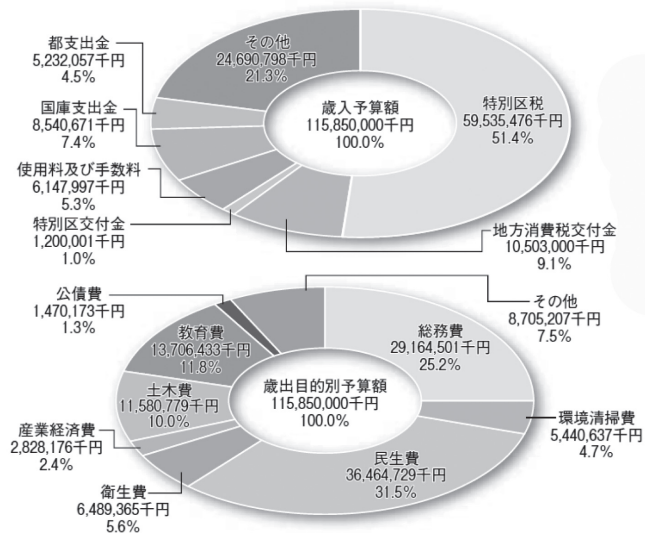
日頃、地域の皆様方のご指導のおかげでなかまえ由紀も港区議会議員としての3期目の議会活動が約2年の折り返し地点を迎えました。議会活動、地域活動、政策研究、そして政治活動が相互に補完し合い港区政の前進に寄与できるよう一層の努力をしております。

平成25年第1回定例会における審議の状況となかまえ由紀の議会での主な提案事項をご報告させていただきます。

## 港区の平成25年度予算

港区議会第1回定例会におきまして、新しい平成25年度予算が成立しました。昨年暮れ頃から少しずつ景気に明るい兆しが見え始めています。リーマンショック以来、減収を続けてきた区民税収入ですが、今年度予算ではようやく昨年度予算比35億円の増収を見込みました。このように港区の歳入の根幹である区民税収入も下げ止まり傾向にあります。将来にわたり安定的に充実した区民サービスを提供していただけるよう、今後とも予算の使い方に注視してまいります。

### 25年度一般会計予算 歳入・歳出内訳



### 【一人の声】総括質問

税収予測の精度向上と歳出のあり方について、保育園待機児童について、病児保育について、赤ちゃんステーションの整備について、清掃工場の安全対策について、生活保護費引き下げの影響について、民間コンサルタント会社への調査委託の費用対効果について、子どもの読書活動推進について、ほか。

### 25年度予算に対する「一人の声」の態度表明



防災対策や待機児童対策に重点を置いたバランスのとれた予算であると評価します。区民税収入は回復傾向にありますが、将来に対する不確定要素も多く、油断は禁物です。今後も行財政改革を推進し、港区らしい質の高い住民サービスの提供に努めていただきたいと思います。予算案すべてに賛成します。

### 第1回定例会における「一人の声」の代表質問および一般質問

- 25年度予算の編成方針について
- 外国人向け施策の充実について
- 生活保護世帯の自立支援について
- 災害対策職員住宅のあり方について
- 小中一貫教育について
- 区立幼稚園の定員拡大について
- 学校選択希望制の問題点について
- 子供の食物アレルギー対策について、ほか。

### \* なかまえ由紀 プロフィール \*

- 昭和49年2月14日生まれ、京都府出身
- 私立同志社中学・高校、東北大学教育学部卒業
- 情報通信企業にてCADオペレーターとして働きながら、政治の勉強会に参加
- 25歳で区議会議員選挙に挑戦するも、14票足りず落選
- 税理士事務所に勤務しながら休日にピラなどで思いを訴える
- 29歳で初当選し、現在3期目
- 会派:超党派4人会派「一人の声」所属
- 所属委員会:総務常任委員会、交通・環境等対策特別委員会
- 座右の銘:一期一会

### 予算委員会

#### なかまえ由紀が取り上げた課題

**総務費** 公共施設の予約をより便利に、事務事業評価の改善について、総合支所相互の連携について、区政の広報力強化について、選挙啓発について

**環境清掃費** 効果的な受動喫煙対策を

**民生費** 高齢者の見守りについて、無料入浴券給付事業の公正な運用について

**衛生費** 地域猫活動の支援について

**土木費** 広尾駅駐輪場について、まちづくり条例を機能させるためにさらなる工夫を、建築時の近隣説明会のあり方について

港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀

仲間へ勇気!



とら まき  
の港区 虎の巻

Vol.50



発行/一人の声 発行日:平成25年春号  
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com http://www.nakamaeyuki.com

## どうなる！今後の地方自治体の財政状況

### 今後の財政見通しについて

新政権によるアベノミクスの効果が少しずつ現れ、景気状況にもやや明るさが見えはじめています。昨今ですが、今後の中長期的なスパンでの地方自治体の財政状況はどうなるのでしょうか？

このことをテーマにして、近隣の新宿区と文京区の区議会議員(ともに無所属)と座談会を開催しました。



新宿区議会議員(現在4期目)  
・無所属

のづケン



文京区議会議員(現在2期目)  
・無所属

上田ゆきこ

**のづ:** 今年になってからアベノミクスの効果により景気にも薄日がさしてきたとも言われますが、上田: そうですね、株価も上昇していますし、企業業績も改善するとの予測もあります。

**のづ:** 景気が良くなれば個人消費や企業の設備投資も盛んになりますし、ゆくゆくは個人の所得も拡大して税収も増えるという好循環が期待されます。

**なかまえ:** ただ全てがパーフェクトの政策などありませんから、この先に注意を払う点は何でしょうか。とくに地方自治体の財政運営においてですが。

**のづ:** そうですね。日銀による金融緩和の畏として、金利が上昇するだろうということ、物価上昇などインフレが懸念されるということの2点が考えられます。

**なかまえ:** 所得が伸びても、物価が上昇すれば生活レベルは変わらないですからね。

**上田:** 金利が上がるということは、自治体の借金である区債の利率も高くなるということですね。

**のづ:** まさにその通り。

**なかまえ:** よく予算審議などの場で、かつて金利が高かった時代に借りた区債を、現在の低金利で借り換えできないかとかの議論がありましたが、これと逆のことが起きるわけですね。

**のづ:** そうです、将来的に借金しようとするときの金利水準は少なくとも現在よりは高くなるでしょう。また円安によって様々な資材の値段も高騰していくでしょう。

**上田:** そうすると近い将来にどうしても必要なこと、たとえば公立学校の耐震補強工事などは、金利が低く、資材も安い現在のうちに前倒して行った方が有利ということですね。

**なかまえ:** そういうことなんですね。  
**のづ:** 景気拡大により税収が増えるからといって油断できない現実もあります。かつてのバブル崩壊後の財政危機は、無駄なハコモノ建設などの支出膨張が招いたものですが、現在は社会保障費などの義務的な経費の増大がもたらす財政危機が懸念されます。

**なかまえ:** そうですね。少子高齢化社会の進展により、この分野の支出はますます増えそうですし、生活保護費なども削ることが難しい支出です。

**上田:** 単に「無駄使い」をなくするというレベルではなくて、限られた財源をいかに重点配分するかの知恵の出し合いが必要ですね。

**のづ:** 確かに1,500くらいある全国の地方自治体の中で、新宿区も港区も文京区も財政的には恵まれた状況にありますが、楽観できるわけではありません。

**なかまえ:** 景気が上向き加減の現在だからこそ、よりいっそうの財政の効率化が求められるのですね。



港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀

仲間へ勇気!



の港区 虎の巻

Vol.51

平成25年秋号

〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com http://www.nakamaeyuki.com

港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀

仲間へ勇気!



の港区 虎の巻

Vol.51

平成25年秋号

〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com http://www.nakamaeyuki.com

ご報告!

## 会派を異動しました。



なかまえ由紀は6月に「一人の声」から「みなと政策クラブ」に会派を移りました。

会派とは考え方の近い議員で組むグループですが、主に同じ政党同士で組むことが多く、無所属の議員は少ないため、無所属の私は1人、もしくは同じ無所属の議員と2人という少数会派で活動してまいりました。3期目の今期も当初1人会派でしたが、港区議会の中で少数会派の議会活動を制限する動きがあり、議会での活動環境を確保するため、当時1人会派であった他の議員と4人で超党派の会派「一人の声」を結成しました。初めてまとまった人数の会派に所属してみたことは、人数がいればスケールメリットやそれぞれの議員の特性を生かし、より議会活動を充実させることも可能である、ということでした。そして熟考の上、さらに考え方の近い「みなと政策クラブ」に移ることにしました。

お世話になった「一人の声」のみなさんに感謝するとともに、「みなと政策クラブ」の一員として、開かれた議会や港区にふさわしい住民サービスを提案していきたいと思えます。

皆様からのご支援はいつも心の支えになっています。また皆様からのご意見は区政の課題を気づかせてくれる貴重な教科書です。

感謝の気持ちを胸に、これからもがんばります。

なかまえ由紀

### ◆「みなと政策クラブ」所属議員◆

- ◆**団長**  
樋渡紀和子 80歳 3期目
- ◆**幹事長**  
七戸 淳 53歳 3期目
- ◆**副幹事長**  
やなぎわ亜紀 32歳 1期目
- ◆**会計監査**  
杉浦のりお 43歳 2期目
- ◆**議会運営委員**  
清家あい 38歳 1期目
- ◆**政調会長**  
なかまえ由紀 39歳 3期目

### \* — なかまえ由紀 プロフィール — \*

- 昭和49年2月14日生まれ、京都府出身
- 同志社中学校・高等学校、東北大学教育学部 卒業
- IT企業にてCADオペレーターとして働きながら、政治の勉強会に参加
- 25歳で区議会議員選挙に挑戦するも、14票足りず落選。税理士事務所に勤務しながら休日にピラなどで思いを訴える
- 29歳で初当選し、現在3期目
- 会派：「みなと政策クラブ」所属
- 所属委員会：建設常任委員会、まちづくり・子育て等対策特別委員会
- 座右の銘：一期一会

## どうなる！ 今後の税制と社会保障制度

### 税負担と社会保障の関係は

少子高齢化社会のますますの進展にともない、社会保障費のさらなる増大が懸念される中、消費税をはじめとする増税を含んだ税制のあり方が検討されています。

税制の改革には賛否両論あるなかで、この流れが地方自治体にどのような影響を及ぼすのかについて、同じ無所属の立場の議員と座談会を開催しました。



八王子市議会議員  
・無所属

小林 ひろえ



新宿区議会議員  
・無所属

のづケン

**なかまえ**：いよいよ消費税の増税が現実的なスケジュールに上がってきましたが、これは賛否両論を巻き起こす大きなテーマでしょう。

**のづケン**：増税の前に徹底した歳出削減が必要だとの声もあります。

**なかまえ**：ある程度の景気回復が消費税アップの条件とされていますが、消費税を引き上げて景気回復の腰を折っては元も子もないという見方もあります。

**小林ひろえ**：難しい問題ですね。そもそも景気が良ければ税収は自然と上向くわけで、何も無理して税率を上げる必要はありません。バブル経済の頃は消費税率3%でも、現在よりは税収は豊かだったわけですから。

**のづケン**：そうですね、消費税を1%アップすると、およそ2兆円の税収増と言われております。しかし景気の低迷で株価下落ともなれば、それこそ何十倍の富が消えうせ、税収も落ち込むわけですから。

**小林ひろえ**：またアベノミクスの結果、長期金利の動向も財政状況には大きな影響を与えるでしょう。現在の歴史的な低金利がたとえ数%でも上昇するだけで、国債の利払いは消費税アップの額以上に膨れ上がるわけです。

**なかまえ**：そう考えると、感情的な議論ではなく経済状況を総合的に見ながら考えなければいけない問題ですね。

**のづケン**：社会保障制度についても同様です。神様は天からお金を配ってはいくれないので、きちんと「受益と負担」についても国民一人一人が考えないといけません。

**なかまえ**：「低福祉、低負担」が良いのか、「高福祉、高負担」が良いのか、または「中福祉、中負担」でいくのか。

**小林ひろえ**：今までは「中福祉、低負担」で何とか頑張ってきたけど、そろそろ限界になったというところ

でしょうか。  
**なかまえ**：この問題は、政治も行政も、そして国民も避けては通れないところでしょう。

**のづケン**：極端な緊縮財政と増税によって経済を委縮させてはいけないが、ルーズな財政運営のツケを増税によってカバーしてその場しのぎをすることはさらに良くない。

**なかまえ**：よく「現在の国の借金は1000兆円あり、国民一人あたりは1000万円近くになる」という表現が使われますが、この借金は正確には「国の借金」ではなく「政府の借金」です。

**小林ひろえ**：その通り、日本の場合は国債の消化を外国に頼っていませんから、実は国民一人あたり1000万円近く政府に貸し付けているわけです。

**なかまえ**：この国民による富の余裕があるうちに、きちんと先ほどの社会保障と負担の問題を国民的議論として検討しなければいけません。

**のづケン**：何だか暗いテーマになりましたが、私たちにとって明るい点は、消費税率が上がった場合には、その幾分かは地方自治体の財源になるということです。

**なかまえ**：地方交付税や都区財調の問題もありますが、いくらかは地方自治体の財政自主権は進むということが予想されますから。

**小林ひろえ**：そういった意味からも、今後の大きな動向には注目していくべきですね。



港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀

仲間へ勇気!



とら まき  
の港区 虎の巻

Vol.52

平成26年新春号

〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com http://www.nakamaeyuki.com

港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

# なかまえ由紀

仲間へ勇気!



とら まき  
の港区 虎の巻

Vol.52

平成26年新春号

〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-529  
TEL&FAX 03-3446-9033 info@nakamaeyuki.com http://www.nakamaeyuki.com



会派で新年に。右から3人目が私。

2014年がスタートしました。  
気持ちを新たに一人でも多くの皆様の笑顔のためにがんばります。  
皆様は新年にあたり、どのような抱負を立てられたでしょうか。  
なかまえ由紀は本年は「百聞は一見に如かず」をモットーに、港区内外の現場に積極的に足を運び、肌で感じたことを大切に、政策実現に役立ててまいります。先進的取り組みを行っている地域には国内外を問わず出かけたいと思います。  
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 第3回定例会報告

25年9月19日から10月11日まで、平成25年第3回定例会が開かれ、平成24年度の決算についても審議しました。

みなと政策クラブからは樋渡議員が会派を代表し「東京オリンピック・パラリンピックへの港区の関わり方」「創業支援」「環境施策」「高齢者施策」「港区の国際教育」「国際バカロレア」について、区長と教育長に質問しました。

## 平成24年度決算特別委員会

24年度は特別区民税収入が4年ぶりに増収となりました。人口が増加し納税義務者が増えたことや株式等にかかわる増収が主な要因で、前年度に比べ約12億円の増収となりました。

各会計決算の概要	会計別	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	1072億2778万4451円	1002億5149万976円	69億7629万3475円	
国民健康保険事業会計	223億4715万4949円	214億2447万6411円	9億2267万8538円	
後期高齢者医療会計	44億5177万9142円	43億7839万3041円	2678万6101円	
介護保険会計	129億5506万5009円	129億5330万7965円	175万7044円	
総計	1469億3518万3551円	1390億766万8393円	79億2751万5158円	

## なかまえ由紀の質問・要望事項 (主なものを抜粋)

**歳入** 区民税収入の構造分析を多角的に行うべき

**総務費** 8割近くの区民が共同住宅に住んでいる港区の特性をふまえ、マンションを区政情報の伝達や広聴の単位としてとらえるべき

**環境清掃費** 受動喫煙防止対策の取り組み強化を

**民生費** 高齢者事業者方式緊急通報システムの整備促進により、高齢者の常時見守りを

**衛生費** 猫の去勢不妊手術助成額の引き上げを/効果的なうつ病対策を

**産業経済費** 経営相談事業の充実を/観光施策の効果的な広報を

**土木費** 老朽マンション建て替え支援の充実を/自転車の盗難・破損防止のため無人駐輪場の管理体制の強化を



## 第4回定例会報告

25年11月27日から12月6日まで、平成25年第4回定例会が開かれました。

みなと政策クラブからは清家議員が会派を代表し「東京オリンピック・パラリンピックへ向けた取り組み」「基金の有効活用」「子育て支援」「教育に関する諸課題」について、杉浦議員が一般質問で「被災自治体の支援」「民間との人事交流」「さらなる国際化の推進」について、区長と教育長に質問しました。

なお、昨年は猪瀬知事の辞職に伴う都知事選挙の実施にあたり、12月26日に急遽第1回臨時会を開会し、都知事選挙の実施にかかる経費約1億2千900万円の補正予算を可決しました。

本年第1回定例会は2月19日から開会の予定です。26年度の予算を審議する予算特別委員会も開かれ、なかまえ由紀は総括質問を行う予定です。

今後とも地方自治体として実行可能な新たな施策について積極的に勉強し、また皆様から頂いたご意見を参考に、政策提言を行ってまいります。お気軽にご意見をお寄せください。

みなと政策クラブ なかまえ由紀 宛て  
TEL 03-3446-9033  
FAX 03-3578-2949  
E-Mail info@nakamaeyuki.com

## \* — なかまえ由紀 プロフィール — \*

- 昭和49年2月14日生まれ、京都府出身
- 同志社中学校・高等学校、東北大学教育学部 卒業
- IT企業にてCADオペレーターとして働きながら、政治の勉強会に参加
- 25歳で区議会議員選挙に挑戦するも、14票足りず落選
- 税理士事務所に勤務しながら休日にピラなどで思いを訴える
- 29歳で初当選し、現在3期目
- 会派：「みなと政策クラブ」所属
- 所属委員会：建設常任委員会、まちづくり・子育て等対策特別委員会
- 座右の銘：一期一会

# 区長に予算要望を提出しました!

みなと政策クラブの予算要望をまとめ、平成26年度予算編成に対する提案書として区長に提出しました。これらが今後の施策に反映されるよう、調査研究を重ね、他会派の議員とも連携し、会派一丸となって取り組んでまいります。  
(主なものを項目のみ下記に列挙します。実際の予算要望書はそれぞれに細かい説明を付しています。下記に掲げた項目以外にも皆様から日々いただくご相談やご要望にも随時対応してまいります。)

### 1 新住民、子育て世代の急増に向けた早急な対応を

- ① 3歳からの幼児教育の保障と待機児童の解消を(小規模保育とこども園の増設を)
- ② 「学童」施設の空き時間(午前中から小学生の下校時刻までの間)を子育て支援施設としての利用を
- ③ 園庭つきのこども施設内にある、稼働率の低い「区民協働スペース」は、子育て支援施設に転用を
- ④ 大型マンション設置時に保育所併設の義務付けを
- ⑤ 「子ども家庭課」職員の増員を
- ⑥ 「新教育センター」に、保育士のための研修機能を
- ⑦ 病児保育、病後児保育の改善を
- ⑧ 子育て支援情報の送付にSMS(ショートメールサービス)の活用を

### 2 高齢者対策について

- ① 小規模多機能、高齢者グループホーム、特別養護老人ホームの増設を

### 3 DV被害者支援について

- ① DV被害者に対するさらなる支援を

### 4 東京オリンピック開催に向けた積極的な取り組みを

- ① オリンピック担当課の設置を
- ② バリアフリーの促進を
- ③ 芝浦運河を観光に活かす施策を
- ④ 老朽化マンションの建て替えに対する支援を

### 5 特区指定に対する対応について

- ① 国家戦略特区およびアジアヘッドクォーター特区に、区としても積極的な関与を
- ② 国際経済特区および国家戦略特区の支援をしているNPO団体などに支援を

### 6 田町駅東口の開発支援を

- ① 田町駅東口北地区街づくりビジョンに基づく再開発の促進を

### 7 港区内の世界的にも誇れる歴史的なスポットや史跡をより活かす施策を

- ① 区内の歴史資源の有効活用を

### 8 区内事業者の活用促進について

- ① 区内事業者の受注機会の促進を

### 9 区内商品券事業について

- ① 区内商品券事業の課題の改善を

### 10 地域防災力の向上について

- ① 簡易消火具を町会から各戸に配布し、火災予防と高齢者の見守りに

### 11 区民との協働について

- ① 協働したい区民のための総合窓口の創設を
- ② キスポート財団の役割の整理を
- ③ マンション課の創設を
- ④ 指定管理者制度の委員会構成の見直し、一般区民の参加も

### 12 区の情報戦略の推進について

- ① 区政情報をわかりやすく発信。オープンガバメントの推進を。
- ② 区民情報の分析、データベース化の促進を
- ③ 広聴などに届く区民ニーズ、町会自治会からの要望、議員からの要望などを一元管理し、進捗状況などを整理すること

### 13 利用者にやさしい区役所づくりについて

- ① 時間外業務の拡大を
- ② 窓口のワンストップサービスの実現を
- ③ 食堂の魅力向上を
- ④ 区民協働スペースの効率的な活用を
- ⑤ 電子署名を推進し、請願する区民の負担軽減を

### 14 環境施策の再構築を

- ① みなと区民の森づくりやみなとエコチャレンジ事業など環境施策の費用対効果向上、公平性の確保を

### 15 動物愛護の推進を

- ① 飼い主のいない猫の去勢・不妊手術助成額の向上の検討を

### 16 図書館サービスの充実について

- ① 特色と魅力ある図書館づくりを
- ② リファレンス機能の向上を
- ③ Wi-Fiフリースポットの導入、カフェ機能など居心地のいい空間づくりを

### 17 食育の充実について

- ① 小学校から食育の充実を

